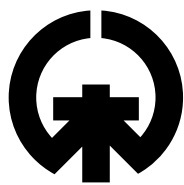


市議会だより



きさらづ

3月定例会

平成十八年度木更津市 一般会計予算案など

38議案を可決

紙面ガイド

1面
4~2面
6~5面

3月定例会及び臨時会の内容
正副議長就任あいさつ
一般質問と答弁の概要
予算審査特別委員会について
議案等の内容及び議決結果
意見書の提出についてなど

三月市議会定例会は、二月二十日から三月十七日までの二十六日間の会期で開かれました。今定例会では、平成十八年度木更津市一般会計予算、障害福祉サービスを利用する利用者負担の見直しを求める意見書にかかる発議案など合計三十八議案が審議され、可決されました。また、十二人の議員が四日間にわたり一般質問(代表・個人質問)を行いました。

本会議の経過

初日 2/20

今定例会の会期を三月十七日までの二十六日間と決定した後、議

員派遣、例月出納検査の結果、委員会の行政視察結果報告などに関する諸報告が行なわれました。

次に、市長提出議案三十二件(議案第1号

第32号)と陳情五件が上程され、提案理由の説明と平成十八年度施政方針の説明が行われました。

続いて、議案第1号について、委員会付託

2日目 2/22

を省略し審議した結果原案のとおり可決されました。

平成十七年度関係議案十件(議案第2号、第11号)について、委

員会付託を省略し審議した結果、いずれも原案どおり可決されました。

前日に引き続き、二人の議員による一般質問(個人質問)が行われ、質問終了後、新年度関係議案(議案第12号、第32号)について大綱質疑が行われました。

6日目 3/3

委員会へ付託することとしました。
総務企画消防常任委員会：議案七件(第19号・第20号・第23号・第28号、第31号) 陳情一件(第2号)
経済環境常任委員会：議案二件(第22号・第27号)
教育市民福祉常任委員会：議案三件(第21号・第24号・第26号)
陳情四件(第1号・第3号、第5号)
土木都市水道常任委員会：議案一件(第25号)

就任の あいさつ

議長 平野 秀樹



私たちは、このたびの3月臨時会におきまして、議員各位のご推挙により、第55代議長並びに第52代副議長に就任いたしました。その職責の重さと使命を十分認識し、円滑な議会運営と、市政発展のため尽力してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

市民の役割がますます重要となる分権時代にあつて、議会の役割は一層重くなつてまいります。積極的に情報公開を進めるとともに、市民を代表する機関として市民の声を行政に反映させることができよう取り組んでまいります。

市民の皆様、更なるご理解と、ご支援ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

副議長 鈴木日出男



本市は、地方分権の進展に伴い、真に自立した自治体が求められている今、行財政改革を強力に推進しております。本市を取り巻く社会経済環境は、依然として厳しいものがあります。市民と行政が適切な役割分担の

市民の皆様、更なるご理解と、ご支援ご協力をお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。

3月臨時会

職員の給与に関する条例の一部を改正する 条例の制定についてなど 2議案を可決

三月三十日(木)に、市議会臨時会を会期一日間として開会しました。諸報告を行った後、市長提出議案一件(議案第35号)が上程され、委員会付託を省略し審議した結果、原案のとおり可決されました。

次に、正副議長の辞職に伴う選挙が行われ、新議長に平野秀樹議員が、新副議長に鈴木日出男議員が選出されました。

続いて、議会運営委員会委員の選任を行いました。次に、四常任委員会及び議会運営委員会の正副委員長の互選結果について報告を行った後、議会選出監査委員の選出に関する追加議案一件(議案第36号)が上程され、採決の結果、原案のとおり同意されました。

次に、組合議会議員等の選挙を行いました(結果は5面のとおり)。次に、特別委員会委員の選任を行った後、最後に特別委員会の正副委員長の互選結果を報告し、3月臨時会の全日程を終了しました。

最終日 3/17

委員会付託案件の審議の経過並びに結果について、所管委員長に報告を求めた後、質疑・討論・採決が行われました。

この結果、各案件とも委員長報告どおり、原案可決二十一件(議案第12号、第32号)、採択一件(陳情第1号)、不採択三件(陳情第3号、第5号)と決定しました。

次に、諸報告の後、市長提出の追加議案二件(議案第33号・第34号)が上程され、委員会付託を省略し審議した結果、原案のとおり可決されました。

続いて、意見書の提出に関する議員発議案四件(発議案第1号、第4号)が上程され、委員会付託を省略し審議した結果、原案のとおり可決されました。

最後に、各常任委員会及び議会運営委員会の閉会中の継続調査について審議し、いずれも申し出のとおり決定し、三月定例会の全日程を終了しました。

3月定例会

「一般質問と答弁の概要」

3月定例会では、12人の議員が市政に対する一般質問(代表質問5人・個人質問7人)を行い、大綱47点、133項目にわたる市当局の見解や方針などをいただきました。紙面には、各議員の質問趣旨(大綱)と、質問議員が選択した大綱1点について質問と答弁の概要を掲載しました。

市政会代表 清水 宗一 議員

活力ある産業づくり

市長の政治姿勢について
健康で安心できる生活づくり
心豊かなひとづくり
快適で住みよい環境づくり
構想・施策の実現に向けて

問 構造改革特別区域法に基づき、木更津港湾物流効率化特区申請を、千葉県と共同で申請したとのことだが、申請された計画の内容はどのようなものであり、認定後の事業はいつごろから、どのように実施されるのか伺いたい

答 特区申請の内容であるが、木更津港木更津南部地区周辺地域において、鉄鋼関連企業が公共埠頭を利用する障害となっていた道路運送車両法の規制を緩和し、特区内の定められたルート運行に限り、特殊大型車両(最大積載量約一四〇トン)による効率的運送を可能とするものである。認定後の事業は、早ければ九月、遅くとも十月には開始され、公共埠頭から主に中国・

千葉運輸局の認定も必要である。市としては、諸団体の積極的な対応を期待しており、申請の経過の中で、支援していきたいと考えている。

正栄会代表 平野 秀樹 議員

安全・安心のまちづくりについて

施政方針について
行財政改革について
健康で安心できる生活づくりについて
教育の推進について

問 防犯に関する取り組みとして、青色回転灯装着車による定期的な地域パトロールは、犯罪抑止効果があると

言われているが、行政だけでなく、防犯団体や自治会等の地縁団体、NPOに青色回転灯装着車を拡大普及させる考えがあるか伺いたい

答 青色回転灯については、平成十六年十一月に、国土交通省が規制緩和の一環で、自主防犯パトロール車に装着することを認定する新たな制度である。ただし、千葉県警察本部が適正な団体であると認定することが第一の要件であり、次に、

東南アジア向けに、年間二十万トンから三十万トンの鉄鋼製品が輸出されることになる。

問 木更津港港湾部道路での大型輸送用車両運行に伴う交通安全対策はどのようにしているのか伺いたい

答 木更津南部地区公共埠頭では、貨物運搬車両を始めとする一般車両の通行も増加が予想され、大型輸送用車両運行に伴う安全性を確保するため、確認車両及び保安員による他の交通との分離、運行ルート道路の交差点への信号機設置、中央分離帯改修工事、照明

設置工事等を特区事業実施までに完了すべく、事業者、千葉県警、千葉県、木更津市の間で協議している。また、羽田空港拡張工事の際には、主に夜間中心の運行を事業者にお願している。



市民ネットワーク代表 飯田喜代子 議員

福祉行政について

市長の施政方針について
教育行政について
住環境の充実について

問 四月から始まる障害者自立支援法によるサービス利用料や医療費の1割負担は、年金を生活費に充てている障害者にとっては、サービスの利用制限につながり、自立支援にならないと思うが、応益負担の影響についてどのように考えているのか伺いたい

答 障害者福祉制度の維持とサービスの充実に努めるため、応益負担を軽減する必要がある。今までの負担が増える人が多くなると思うが、可能な範囲で負担してもらおう、応益負担と応能負担を合わせた制度であると考えてもらいたい。

新栄会代表 橋口 武信 議員

教育行政について

市長の政治姿勢について
市民の安心、安全について
福祉行政について

問 平成十八年度の教育予算の全体的な特徴等について説明願いたい

答 従来の施策を推進するものとして、P

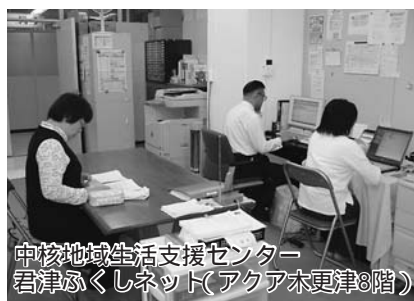
F I手法による第一小学校の改築準備、小学校二校の耐震対策、その他施設の整備充実を図っていく。また、第一中学校と若根西中学校で、新学期から給食を開始するとともに、全中学校での早期実施に向け、PFI方式による共同調理場の建設事業を検討していく。



新たな試みとして、県教育委員会の委託を受け、学校評価の実践研究を推進していく。また、全小学校に読書

問 国は、精神障害者、知的障害者のひとり暮らしにも公営住宅の入居を認める方針である。障害者を病院から出すための受け皿の一つの施策である。こうした場合、地域でひとり暮らしの障害者を見守る仕組みが必要だと思うが、どのように考えているのか伺いたい

答 障害者が一人暮らしをする、あるいはグループホーム等に入居するための措置も必要である。今までの負担が増える人が多くなると思うが、可能な範囲で負担してもらおう、応益負担と応能負担を合わせた制度であると考えてもらいたい。



問 国は、精神障害者、知的障害者のひとり暮らしにも公営住宅の入居を認める方針である。障害者を病院から出すための受け皿の一つの施策である。こうした場合、地域でひとり暮らしの障害者を見守る仕組みが必要だと思うが、どのように考えているのか伺いたい

答 障害者が一人暮らしをする、あるいはグループホーム等に入居するための措置も必要である。今までの負担が増える人が多くなると思うが、可能な範囲で負担してもらおう、応益負担と応能負担を合わせた制度であると考えてもらいたい。

問 学校教育の充実を図るための予算措置がされたことは評価する。しかし、一般会計予算に占める教育費の割合は9.2%と前年度より減少している。「教育のまち木更津」を目指すならば、10%以上の予算が必要だと思いがいがか

答 十八年度予算が



前年度比2.3%減となったのは、十七年度高校総体開催に要した事業費、人件費等の額が減額されるなどしたためである。予算増額は、構成比率に現れるべきものと厳しく認識しており、「教育都市きさらぎ」の実現に向け引き続き努力していく考えである。

公明党代表 西 勝義 議員

市民に誇れるまちづくり

市民に優しいまちづくり

問 「みなと木更津再生構想」における整備地区である築地地区の大型集客施設は、ぜひ実現させたいが、国会で審議されているまちづくり三法の見直しで、大規模店舗の郊外立地規制強化を視野に入れた改正中心市街地活性化法の成立が見込まれる。築地地区集客施設との関わりはないのか伺いたい

再生構想」における築地地区の施設誘致は、市民の財産である港を生かしつつ、近接する工場未利用地を活用する立地誘導政策であり、中心市街地の再生を目的としたものである。民間活力の地域導入という観点から、郊外でなく中心市街地に近接する築地地区に誘致することは、まちの中心性を呼び戻す契機となる効果的な施策である

白坂 英義 議員

消防行政について

行政改革について 第2次地域情報化計画について

問 本市は、「消防力の基準」により、人口三万人に一台の割合で救急車を配置することとなっており、本署、長須賀分署、富来田分署、金田分署の四カ所に五台(待機車を含む)の救急車を配置している。平成十七年の出動件数五二五三件のうち、本署、長須賀分署が四〇六二件(77%)となっており、対応地区

り、見直しの法案趣旨に沿ったものである。問 「みなと木更津再生構想」では内港整備が急がれるが、千葉県による吾妻地区埋立地整備の供用開始が二十一年度末では余りに遅い。市が先行して整備を行つべきではないか

答 内港部の早期整備については、多くの市民、関係者等から要望が寄せられており、中心市街地の活性化のためにも重要であることは十分認識している。ただ、港湾整備は、管理者である千葉県に統計数値と同様である。救急車の配置については、居住人口だけでなく、昼間人口や出勤頻度を勘案し、件数の多い地区をカバーする体制を整え、現状の配置で対応しているが、今後の人口増加等に十分配慮したいと考えている。

問 本署、長須賀分署の対応地区に救急車を一台増やすべきと思うが、今後の消防力の強化について、どのように考えているか伺いたい

答 救急車の配備は、出勤頻度、到着時間等を考慮し配備し、また、



本署に配備されている高規格救急車



整備が進められる木更津港内港

より進められている。市は各種ソフト事業の実施により、早期整備実現の一翼を担うよう努めている。千葉県に対しては、機会あるごとに早期整備について要望していく。

山形 誠子 議員

市民の健康を守る施策

介護保険事業の実施状況と改正介護保険制度への対応について 学校教育と自衛隊について PFI方式による学校給食センター建設計画 一般廃棄物処理施策

問 基本健康調査の健診料を有料(千円)に、また、各種がん検診の検診料を引き上げることだが、受診率の低下が予想される。基本健診は、昭和六十三年から平成五年まで有料であったが、有料にして受診率がどう変化したか伺いたい。また、受診料値上げ案は、以前の、国保会計健全化に予防医療拡大が効果があると思う

との答弁に食い違つのではないかと。答 基本健康調査の受益者負担金は、健康づくりは一人ひとりが主体的に取り組むものであり、基本健診は自助努力の一つであると認識してもらつたための逆行的なものではないと考えている。受診率は、平成5年度に30%を超え、11年度50%、16年度

後藤 秀 議員

教育の諸問題について

県立上総博物館について 大久保団地汚水処理場建物について 大久保団地内に信号機設置をについて

問 夜更かし、寝不足が、学業成績を低下させ、子どもの成長にマイナスだという意識が親にも社会にも希薄だと思つて。教育長は、早寝早起きと学業との関係をどのように考えているか。また、各学校では、早寝早起きについて、子ども、保護者にどのような対応をしているのか

答 早寝早起きと学力との関係は、さまざま

まな調査により、高い相関を示すとされており、その認識している。早寝早起きは、子どもの基本的生活習慣の基盤であり、教育委員会の実施した調査からも、大きな相関関係があると理解している。各学校では、保護者会、学校だより、保健だより等で、早寝早起きをはじめとする基本的生活習慣の大切さを啓発する努力を続けて



小・中学校で使われる食育のための教材



に求めている。十八年度国保税率は、確定申告等による所得状況や被保険者の状況などを斟酌し、国保運営協議会などを通じ、慎重な検討を経て改めて決定することになる。

問 児童・生徒の朝食摂取について、学校によってはアンケート調査をしているが、アンケートの統計等を取っているか。また、教育委員会として朝食問題にどのように取り組んでいるのか伺いたい。答 90%だった。朝食の摂取等の規則正しい生活は、学業にも大きな影響があることから、食に関する教育を児童・生徒また保護者に対して充実するよう各学校に指導していきたい。

大村 富良 議員

高速バスについて

教育行政について
中野畑沢線について

問 東京湾アクアラインの高速バスは、多くの利用者の需要に応え増便され、利便性がかなり向上したと思うが、かずさアクアシティの整備を推進するためには、高速バスの運行路線拡大が必要である。平成十八年度において増便計画はあるのか、また、新規バス事業者による運行の動きはあるのか伺いたい

答 平成十八年度の増便計画であるが、君津東京線で増便を図るといって回答を得ている。その内容であるが、現在、平日の何便かが臨時便であるが非効率なため、夏ごろを目標に、平日上り下りあわせて十三便程度の増便を図ろうと準備していることである。

新規バス事業者による運行計画については、現在のところ、話は聞いていない。ただ、東

関東自動車道館山線が全線開通した場合は、安房地域からの新規路線の計画が出てくると思われるので、その際は、金田バスターミナルへの経由について検討したいとの回答を得ている。

問 金田バスターミナルへの君津羽田空港線の停車について

答 昨年段階で、要望に沿えないと回答があったが、私もいろいろと働きかけを行い、市もバス事業者への要望を続けてきた結果、実現まであと一歩のところと聞いている。現在の状況にな



金田バスターミナル

っているのか伺いたい

答 バス事業者及び運行に関する許認可関係等について、大枠の調整にめどがついた。早期実現に向け努力していきたい。

佐藤多美男 議員

要介護者への所得税・住民税障害者控除

水越市長の政治姿勢について 「場外馬券売り場」誘致問題
築地地先への大型商業施設の誘致について
中心市街地活性化について
国道16号バイパス交差点の排水対策

問 要介護者について所得税と住民税の障害者控除を認めることについては、二〇〇二年に厚生労働省から通達が出ている。市が要介護者に対して、普通障害者あるいは特別障害者に準ずる者として、税の控除を認める認定書を発行すれば、控除が可能となる。

障害者控除を認める動きは、全国的に広がっており、他県他市の

状況を参考に、早期に認定の実現を求めるが、認定の措置を取るかどうか伺いたい

答 現在、新潟県長岡市をはじめとして、障害者手帳を持っていない介護保険法の要介護者に対する税の控除が認められていると聞いている。国税庁も、要介護認定者が障害者控除になり得ると認めるところから、本市としても、今後、諸

町の例を挙げると、要介護4及び5と判定されている者は、特別障害者控除の対象で、所得税四十万円、住民税三十万円の控除、これ以外の者は、障害者控除で、所得税二十七万円、住民税二十六万円

問 静岡県函南町の例を挙げると、要介護4及び5と判定されている者は、特別障害者控除の対象で、所得税四十万円、住民税三十万円の控除、これ以外の者は、障害者控除で、所得税二十七万円、住民税二十六万円

の控除となつている。本市の対象者は、十七年四月一日現在で、六十五歳以上の認定者三千四百人のうち、障害者手帳所持者六百五十三人を除く二千四百五十一人となる。



高橋 浩 議員

築地地区大型店開発とアクアラインの値下げについて

来年度の教育予算について

問 築地地区大型店開発では、商圏人口の少なさが懸念される。そこで、財政的負担を抑え、現在ある社会資本を活用できる政策で、商圏人口を増加させ、また、対岸の川崎、横浜からの客数を増やすには、アクアライン通行料金の値下げしかないと思う。市は、値下げの必要性をどのように考えているのか。また、開発を成功させるには、アクアライン通行料金の値下げが不可欠と考えるが、市の考えを伺いたい

答 築地地区の大型店は、総延べ床面積十、四万㎡の大規模施設で、基本的には木更津以南を商圏域としながら、船橋市のらばーとや浦安市の東京デイズニランドのような、対岸から見ても魅力的で、集客効果の高い施設設立

地が期待されることである。現在、アクアラインでのETC利用による値下げ効果で、南房総への観光客増加が期待される状況であり、今後の一層の値下げは、本市への来訪者の増加につながる効果的な取り組みであると認識している。

また、開発成功には値下げが不可欠ではないかというところであるが、アクアラインで実施された利用促進キャンペーンの交通量を比較してみると、実施効果として、十七年度が前年比で13%増加



アクアライン

したという結果が出ている。このことから、築地地区への来訪者増加を促進するためには、アクアラインの料金値下げを実現することが重要な要素であると理解している。

金井 珠美 議員

福祉政策について

環境政策について

問 DVによる死亡などの最悪の事態を避けるには早期発見が一番だと考える。近所づき合いもない、知人、友人もないような環境では、なかなか相談できない状況で悩み続けることになると思う。DV被害者を支援する、地域の中でのネットワークの必要や専門機関のネットワークが重要になってくると考えるが、現在、連携はどの

ようになっているのか

答 支援者のネットワークについては、行政機関のネットワークとして、配偶者暴力相談支援センターである千葉県女性サポートセンター及び各健康福祉センターあるいは警察機関を介して、DV被害者の緊急一時保護等を行っている。また、市内には、コスモスという母子生活支援施設がシェルターの役割を

果たしている。県内には、NPO法人、社会福祉施設などでDVサポートネットワークというDV被害者支援団体のネットワークがあり活用できる。現在、これら官民のネットワークとは常に連携が図られている。

問 DV被害者に

関する自立支援プログラムについて、具体的どのような支援をしているのか伺いたい

答 一時保護機能として、ショートステイ事業の活用、また、被害者の状況により、自立が困難な相談者



木更津市議会委員会等構成名簿

印...委員長 印...副委員長 (平成18年3月30日)

委員会名	定数	委員名					
総務企画消防 常任委員会	8	平井 秀幸 荒生 直美 貫 一義	白坂 英義 平野 秀樹 三上 和俊	高橋 浩 西 勝義			
経済環境 常任委員会	7	大村 富良 近藤 富男 竹内 和雄	金井 珠美 滝口 敏夫	鈴木日出男 前田 清治			
教育市民福祉 常任委員会	8	岡田 壽彦 飯田喜代子 山形 誠子	橋口 武信 荻野 一男 後藤 秀	武藤 義彦 石井 勝			
土木都市水道 常任委員会	7	住ノ江雄次 大野 俊幸 佐久間康之	野田 芳久 石井 量夫	清水 宗一 佐藤多美男			
議会運営委員会	8	滝口 敏夫 清水 宗一 石井 量夫	前田 清治 西 勝義 貫 一義	荒生 直美 野田 芳久			
議会広報 特別委員会	9	白坂 英義 大村 富良 岡田 壽彦	武藤 義彦 飯田喜代子 荻野 一男	高橋 浩 平井 秀幸 貫 一義			
基地対策 特別委員会	9	清水 宗一 大村 富良 滝口 敏夫	白坂 英義 岡田 壽彦 佐藤多美男	金井 珠美 近藤 富男 前田 清治			
業務核都市 拠点特別委員会	9	三上 和俊 平井 秀幸 石井 量夫	橋口 武信 住ノ江雄次 前田 清治	荒生 直美 大野 俊幸 竹内 和雄			
合併調査 特別委員会	9	近藤 富男 橋口 武信 住ノ江雄次	武藤 義彦 高橋 浩 前田 清治	金井 珠美 清水 宗一 三上 和俊			
議会選出 監査委員		滝口 敏夫					
君津郡市中央病院組合議会議員		石井 勝 石井 量夫					
君津郡市広域市町村圏事務組合議会議員		平野 秀樹 清水 宗一					
君津広域水道企業団議会議員		平井 秀幸					

予算審査特別委員会 平成十八年度 予算案審査について

予算審査特別委員会で、三月八日から十日までの三日間に亘り、本会議で付託された新年度予算案に関する八議案(議案第12号、第18号、第32号)について審査し、三百八十九点に及び質疑を行い、執行部の説明を求めるとともに、事務事業に関する改善などの意見・要望を出しました。

また、君津中央病院への負担金の審査に関しては、病院側の参考人の出席を求め、意見聴



特別委員会委員	委員長	副委員長
平井 秀幸 大村 富良 佐藤多美男 前田 清治	橋口 武信 住ノ江雄次 後藤 秀	金井 珠美 滝口 敏夫 貫 一義

取を行いました。一般会計予算は、職員の人件費の削減や民間委託を推進しながら、地域経営の視点に立った各種事業が盛り込まれ、また、小学校校舎の耐震改築、土地開発公社健全化などの懸案事項に取り組み予算編成となっておりまして、国民健康保険特別会計予算ほか六つの特別会計予算は、市民生活の充実と福祉の向上のために必要な施策が盛り込まれていると認められました。

水道事業会計予算では、経費削減により、収益的収支予算が黒字予算となっていますが、

議案等の内容及び議決結果

市長提出議案

議案第1号「権利(債権)の放棄について」
権利(債権)を放棄するため、地方自治法の規定により、議会の議決を得ようとするものです。
原案可決 全会一致

議案第2号「平成十七年度木更津市一般会計補正予算(第5号)」
議案第3号「平成十七年度木更津市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)」
議案第4号「平成十七年度木更津市老人保健特別会計補正予算(第2号)」
議案第5号「平成十七年度木更津市介護保険特別会計補正予算(第4号)」
議案第6号「平成十七年度木更津市公設地方卸売市場特別会計補正予算(第2号)」
議案第7号「平成十七年度木更津市公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)」
議案第8号「平成十七年度木更津市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)」
いずれも補正予算に関する議案で、一般会計予算と特別会計予算(六会計)に総額十三億九千九百七十四千円を追加しようとするものとする。

議案第9号「木更津市観光振興基金条例の制定について」
議案第10号「木更津市選挙公報の発行に関する条例の制定について」
議案第11号「木更津市精神障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について」
議案第12号「平成十八年度木更津市一般会計予算」
議案第13号「平成十八年度木更津市国民健康保険特別会計予算」
議案第14号「平成十八年度木更津市老人保健特別会計予算」
議案第15号「平成十八年度木更津市介護保険特別会計予算」
議案第16号「平成十八年度木更津市公設地方卸売市場特別会計予算」
議案第17号「平成十八年度木更津市公共下水道事業特別会計予算」
議案第18号「平成十八年度木更津市駐車場事業特別会計予算」
議案第19号「木更津市国民保護協議会条例の制定について」
議案第20号「木更津市国民保護対策本部及び木更津市緊急対処事態対策本部条例の制定について」
議案第21号「木更津市障害程度区分認定等審査会の委員の定数等を定める条例の制定について」
議案第22号「木更津市潮浜スポーツセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について」
木更津市潮浜スポーツセンターを廃止するため、条例を廃止しようとするものとする。

議案第12号「平成十八年度木更津市一般会計予算」
議案第13号「平成十八年度木更津市国民健康保険特別会計予算」
議案第14号「平成十八年度木更津市老人保健特別会計予算」
議案第15号「平成十八年度木更津市介護保険特別会計予算」
議案第16号「平成十八年度木更津市公設地方卸売市場特別会計予算」
議案第17号「平成十八年度木更津市公共下水道事業特別会計予算」
議案第18号「平成十八年度木更津市駐車場事業特別会計予算」
議案第19号「木更津市国民保護協議会条例の制定について」
議案第20号「木更津市国民保護対策本部及び木更津市緊急対処事態対策本部条例の制定について」
議案第21号「木更津市障害程度区分認定等審査会の委員の定数等を定める条例の制定について」
議案第22号「木更津市潮浜スポーツセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定について」
木更津市潮浜スポーツセンターを廃止するため、条例を廃止しようとするものとする。

つとめるものです。

原案可決 賛成多数

議案第23号「特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

指定管理者に木更津市営体育施設の管理を行わせること、及び木更津市障害程度区分認定等審査会の委員の報酬の額を定めるため、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第24号「木更津市重度心身障害者医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

重度心身障害者に対する医療費の助成の対象要件を変更すること等のため、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 賛成多数

議案第25号「木更津市営住宅設置管理条例の一部を改正する条例の制定について」

土地区画整理法及び公営住宅法施行令の一部改正に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第26号「木更津市立少年自然の家キャンプ場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定に

ついて」

木更津市立少年自然の家キャンプ場について、直営管理をするのと等のため、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第27号「字の区域及び名称の変更について」

沢田地区団体営土地改良事業を施行した結果、字の区域及び名称の変更をする必要が生じたので、議会の議決を得ようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第28号「千葉県自治センターを組織する地方公共団体の数の減少に関する協議について」

千葉県自治センターの解散に伴う財産処分に関する協議について

原案可決 全会一致

議案第31号「千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少、千葉県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更

及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制定に関する協議について」

千葉県市町村総合事務組合に関する協議について、地方自治法の規定により、議会の議決を得ようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第33号「手数料条例の一部を改正する条例の制定について」

船舶の燃料タンクに直接給油するための給油設備を備えた移動タンク貯蔵所の技術基準の改正に伴う地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第34号「木更津市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について」

第3期木更津市介護保険事業計画策定に伴い、保険料を改定すること等のため、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 賛成多数

議案第35号「障害福祉サービスを利用する利用者負担の見直しを求める意見書について」

陳情第1号の内容に

関する意見書を国に提出しようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第2号「廃棄物処理施設建設の手續きに関する意見書について」

廃棄物処理施設の設置の許可に係る地元説明会等に関し、条例の改正を求める意見書を千葉県に提出しようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第3号「議会制度改革の早期実現に関する意見書について」

本格的な地方分権時代に即した、抜本的な地方議会制度の改正を行うよう求める意見書を国に提出しようとするものです。

原案可決 全会一致

議案第4号「運転免許センターの設置に関する意見書について」

県企業庁の未利用地を利用し、木更津市に運転免許センターを設置するよう求める意見書を千葉県に提出しようとするものです。

原案可決 全会一致

議員発議案

議案第1号「障害福祉サービスを利用する利用者負担の見直しを求める意見書について」

陳情第1号の内容に

バス利用の抑制や自立の阻害につながる「利用者の定率負担導入」に反対する意見書を、国に対して提出するよう求めるものです。

原案可決 全会一致

陳情者：千葉県聴覚障害者連盟・会長 植野慶也 他

議案第2号「公共サービス」の安易な民間開放は行わず、充実を求める意見書」提出に関する陳情」

採択 全会一致

市場化テストをはじめとする公共サービスの民間開放を安易に行わず、また、画一的な公務員の純減は止め、公共サービスの改善や水準を維持するために必要な要員を確保するよう、国に対し意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：日本国家公務員労働組合連合会・中央執行委員長 堀口士郎

議案第3号「医療制度の改善を求める陳情書」

国民、特に、高齢者の負担増や高額療養費の引き上げ、また、自治体に負担を強い医療制度改革(改善)を行わないよう、国に対し意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：社会保障推進千葉県協議会・会長

陳情第1号「障害福祉サービスを利用する利用者負担増に反対する陳情」

所得保障が不十分な「二重障害者等」にとって、障害福祉サ

佐藤 良治

不採択 賛成少数

陳情第4号「国民健康保険制度の改善を求める陳情書」

保健料(税)の負担と給付の改善のため、国庫負担水準を引き上げること、また、県支出金を増額すること等を行うよう、国及び県に対し意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：陳情第3号に同じ

不採択 賛成少数

陳情第5号「介護保険制度の改善を求める陳情書」

市町村介護保険財政への負担解消のため、国の介護給付費負担金等の割合引き上げと、制度改正に伴う低所得者対策の拡充、低所得者以外の軽減対策制度の創設を行うよう、国に対し意見書を提出することを求めるものです。

陳情者：陳情第3号に同じ

不採択 賛成少数

3月臨時会 市長提出議案

議案第35号「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」

一般職の職員の給料月額を引き下げ等を行

つため、関係条文の整備をしようとするものです。

原案可決 賛成多数

議案第36号「木更津市監査委員の選任について」

木更津市監査委員(議員選任)三上和俊氏の退職に伴い、後任の委員(議員選任)に滝口敏夫氏を選任したいので、議会の同意を得ようとするものです。

原案同意 賛成多数

意見書の提出について
今定例会で議員より提案され可決された発議案4件に基づき、下記の意見書を政府及び関係機関等に提出しました。
・障害福祉サービスを利用する利用者負担の見直しを求める意見書
・廃棄物処理施設建設の手續きに関する意見書
・議会制度改革の早期実現に関する意見書
・運転免許センターの設置に関する意見書

傍聴者の状況
Table with 3 columns: 区分, 1-3月計, 18年累計
Rows: 本会議 (84人, 84人), 委員会 (4人, 4人), 合計 (88人, 88人)

一般質問と答弁などをケーブルテレビで放映
内容 / 1回目の質問と答弁(各々15分)、提案理由の説明。
時刻 / 定例会ごとに異なります。

議会情報公開請求件数について
市議会に対する理解と市民参加の市政を促進し、広く開かれた市議会を実現するために、市議会に関する情報を公開しています。
平成17年度公開請求件数 0件

次の定例会は、6月13日火から開催される予定です。
議会を傍聴してみませんか
受付で住所・氏名を記入するだけで簡単に傍聴できます。(委員会の傍聴は、委員長の許可が必要です。)
会議録の閲覧について
平成18年3月会議録は、市役所(2階)行政資料室、最寄りの公民館・図書館などで6月1日頃から閲覧することができます。
インターネットによる会議録の検索・閲覧について
市議会ホームページ内の「会議録の検索と閲覧」で、本会議および委員会の会議録をご覧いただけます。
URL http://www.city.kisarazu.chiba.jp/gikai/
(平成18年3月会議録は5月下旬公開の予定です。)